



外国出張報告書

平成 26 年 9 月 16 日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成 26 年 7 月～8 月
3. 出張目的 サトウキビ栽培における基肥溶脱調査：A

4. 成果の概要

フィリピン西ネグロス州のサトウキビ栽培圃場において、基肥窒素の溶脱を観測する体制を整えた。

サトウキビを植え付けた後、無施肥、施肥直後、施肥 1 ヶ月後、および無栽植での、施肥直後、施肥 1 ヶ月後の 5 処理のそれぞれの試験区において、土壤溶液を採取し、小型反射式光度計 (RQ flex, Merck) で硝酸態窒素 ($\text{NO}_3\text{-N}$) 濃度を測定した。

また、試験区の土壤断面を掘削し、根圏からの溶脱水を採取するためのパンライシメータ、その他塩分、土壤水分センサーを設置し、データの測定を開始した。